

## 第 14 計 ; 何故、中国人の大学卒業者の失業が多いのか？

—「中国学生デモと江沢民の「反日教育」—  
「江沢民は聖武天皇 奥さんは光明皇后？」  
江沢民は仏教の理解者？

(第二計参照) 白馬寺の館長から頂いた「仏説四十二章経」の一頁は江沢民直筆の“中国第一古刹”と書かれていました。

初めに ; このパートは「日本人が中国人の価値観を理解せねばならない。」の最終になるので少し文章が長くなることをお断りします。

### 第一章 現在中国の大学生のおかれた立場

国が不景気で失業が多いのはだれでも解りますが、中国経済は好調で規模も拡大しているのに、毎年大卒の失業者が数百万人にいると聞きます。

北京でも上海でも有名大学の学生程就職するのではなく、事業を起こすことを考えており、インターネットで情報を漁(あさ)っているのであります。中国のインターネット人口は約4億人と言われております。4億人が世界の情報を見て、特許・有名商品・学者の発表論文などすべて調べているのであります。しかして、彼らに独創性はありません。まるでインターネットを通じて”宝物”探しをしている状態なのであります。

彼らは、ストレスがたまれば、デモに参加します。中国政府が一

番恐れているのは、これらの学生デモが暴徒化することであります。文化大革命はインターネットならぬ大学の壁新聞から学生デモが広がったとも言われています。従って、中国情報部はこれらの取締りに 10 万人規模で情報統制をして日夜監視しています。デモが暴徒化しそうになると、大学の学長・教授達は学生の親に連絡をとって沈静化に努めます。暴徒化すると、国家反逆罪で警察所管の地獄のような「労働教養所」に収容されます。トイレは一日 4 回で、一回目は大便禁止です。また警察官は武装警察が投入されます。彼らは特定の人（中国の要人）とかとは接触機会がありません。

私の私見ですが、大学の累積失業者は毎年増えて 2000 万人をこえていると思慮されます。彼らは、絶対に自己の能力の質を安売りしない。金がなくなればアルバイトで稼ぐ、また金持ちの子供は自分たちより能力が劣る馬鹿と思っています。また、アルバイトはするが、建設・工場労働者にはなりません。

彼らにして中国人固有の“面子”があるからであります。最近「校漂族」という言葉が中国の新聞で見かけます。「校漂族」の多くは大学卒業後学内に居住し、大学院進学を目指すもの、国家公務員を目指すもの、海外留学を目指す者、就職先がなくて留まっている者、無目的でとどまっている者等があります。

不動産重視で成長した中国の経済政策の転換点でもあります。特に中国中西部（少数民族地域を除く、漢民族三国志の時代での”魏の国”と”蜀の国”）の学生には“反日教育”が行き渡っている。更に彼らは中国沿岸部の都会での人脈がありません。事業の独立をあきらめた場合、気にいった会社があれば自分を売り込む行動に出ます。現在、中国地方政府は彼らの能力を政府の役人としての雇用を考え出しました。彼らは反日教育の申し子であり私が日本人と解ると、すごく警戒し握手もしてくれません。

彼らが日本に来て日本文化と価値観が解れば、日本と中国はもっと友好的になれると思うのであります。彼らは英語も出来るのですから。

## 第二章 中国の反日教育導入の契機（けいき）

1994年1995年頃、鄧小平が寝たきり状態になりました。すると1994年に江沢民が突然、“反日教育”を学校教育に思想教育として導入しました。私は行きすぎだと思います。なぜなら、日本にいる中国人留学生は日本に来て「日本人は優しくて礼儀正しい人が多い」といって反日教育をみずから否定し精神改革するからです。それと「ずっと日本に住みたいと。」いいます。

孫文、蒋介石、毛沢東、周恩来、鄧小平、胡耀邦、趙紫陽、胡錦濤、温家宝・・・は実際の心は全部親日派であったと聞いておりま

すが、何故江沢民が反日教育を導入したのかが不思議でありました。

孫文の辛亥革命に資金協力した日本人も数人いますし、孫文の後継者の蒋介石は日本の軍隊の学校にいたし、毛沢東は戦後明確に現在生じている領土問題で“尖閣諸島”・”竹島“・北方4島と千島列島”は日本の領土であると明確に言っています。また胡耀邦は日本の靖国神社にも参拝（さんぱい）しています。

更に田中角栄が初めて中国に行って、過去の“日中戦争”に対し謝罪の言葉を述べた時、毛沢東は言ったと言う「もしも日本軍が中国に来なかったら、私は蒋介石に殺されていた」と。同席した中国人は周恩来と新華社の社長と通訳だけであったという。田中角栄は中国人の心を伝える書籍数冊もらった。原本は山東省の東洋のベニスと言われる済南の市の西の聊城市にあるお寺にあります。



予断ですが中国人は毛沢東（湖北省）と鄧小平（四川省）が話をすると、訛りが強く聞く中国人が何をいっているか判らない人が多かったそうです。特に毛沢東と鄧小平の二人が話す時の通訳者は周恩来であったそうです。

江沢民が国家主席になった時、中国で下記のブラックユーモアが中国人の有識者の間で流布されていました。

「江沢民が天安門に登れば頭の痛い事ばかりである。

- ① 東を見れば(北朝鮮から)の密輸が止まらない、
- ② 西を見れば(少数民族の)内乱が起るかも知れない、
- ③ 北を見れば国営企業が破綻するかも知れない、
- ④ 南を見れば台湾が独立するかも知れない。
- ⑤ また上を見れば、アメリカのミサイルが落ちてくるかも知れない。
- ⑥ 下を見れば法輪功が座っている。
- ⑦ 横を見れば役人の(権力乱用の)賄賂が止まらない。
- ⑧ 座ろうとすると、(鄧小平等の)老人の幹部から、頭を切り替えて仕事をしろと叱られる。
- ⑨ そこに江沢民の実父江世俊の漢奸(国賊)」との問題まで出てきた。

私は、江沢民は兵法 36 計の第 34 計である”苦肉の計“が反日教育”導入の契機であると思っています。但し、江沢民の奥さんは本当に温和な人です。

(絶対江沢民の奥さんは私の味方をすると確信します。“将を射んとすればまず馬を射よ。夫を射んとすればまず妻を射よ”の気持ちであります。是是非非で少し日本の武士道精神をもった白髪 of 騎士が考古学的に「中国内部事情」に踏み込みます。)

江沢民が立場的に平凡に生きる事が出来なくなると私は思っています。第二天安門事件の後、鄧小平以外の老人幹部の推薦で、突然に中国の国家主席になったのですから。

いくらフランス留学体験者の鄧小平でも判断ミスを犯しました。鄧小平は判断ミスに気がつくど、江沢民を一番に推薦した親友の陳雲(中共八大元老の一人)の意見を斬ってでも「中国を改革開放」し、更に江沢民の後の後継者を胡錦濤にしました。(決断には失敗もある)

- ① 鄧小平 党中央軍事委員会主席(1981年 - 1989年)、党中央顧問委员会主任(1982年 - 1987年)
- ② 陳雲 中央顧問委员会主任(1987年 - 1992年)
- ③ 彭真 全国人民代表大会常務委員長(1983年 - 1988年)

- ④ 楊尚昆 中華人民共和国主席（1988年 - 1993年）
- ⑤ 薄一波 中央顧問委員会副主任
- ⑥ 李先念 中華人民共和国主席（1983年 - 1988年）、中国人民政治協商会議主席（1988年 - 1992年）
- ⑦ 王震 中央顧問委員会副主任
- ⑧ 鄧穎超 中国人民政治協商会議主席（1983年 - 1988年）、周恩来の寡婦  
後に李先念・王震・鄧穎超と入れ替わる形で、以下の3人が入った。

宋任窮 中央顧問委員会副主任

万里 全国人民代表大会常務委員長（1988年 - 1993年）

習仲勳 元国務院副総理の一人

胡錦濤は国家主席に選ばれたあと一番最初に訪問し報告したのは

鄧小平さんの娘さんの画家の鄧林さんであると聞いています。

### 第三章 江沢民の実父江世俊の経歴と反日教育の内容

一説によると江沢民の実父江世俊は、日本軍占領下の江蘇省で日本の特務機関に協力をしていたという説があり、また現在上海交通大学に併合された旧南京中央大学で日本語を学習し、酔えば日本の“炭坑節”を歌ったという人もいます。

参考 中国人が書いた中国語の記事（私の過去の調査資料1）

江世俊（1895年－1973年），是江泽民的生父，别号冠千。他也是江石溪及其前妻的兒子之一。 ... [編輯] 漢奸問題。在抗日战争期間，江世俊改名江冠千，担任南京汪精衛伪政府宣传部副部长兼社论委员会主任委员。按照中共以往惯例科级以上就算汉奸。..

（江世俊（1895年－1973年）は江沢民の実父です。別名を江冠千と言います。彼は父の江石溪の前妻の子供の一人です。 ... [編集] スパイ（国賊）問題は日中戦争の時，江世俊は江冠千と改名しました。仕事は南京にいた“汪精衛”（有名な国民党のスパイ組織のボス）の下でスパイ活動をしていました。偽（にせ）の政府宣伝部副部长兼社説論説委員の部長でした。従って中国共産党の従来の慣例では課長級以上はスパイ（国賊）とされます。）

生父江世俊为汉奸要员,也只能拉出个名不见经传的江上青来装饰门面了! (私の過去の調査資料2)

(江沢民の実父江世俊スパイ要員であるから公には下図のような写真は,別人の合成写真かも知れない!)



嘗て、私の日本人の知人で日本語学校の経営者が南京市に行きました。その時の話ですが・・・「南京市の幹部が嘆いていた。上海にはたくさん日本企業があるのに、南京市には日本企業が来てくれない。来ても本当の技術のない台湾企業ばかり」。更に彼は私に話しました。「中国の“反日教育”の教科書で、教える女性の先生は“南京大虐殺”の場面で涙を流して子供達に教えている」と・・・。

#### 第四章 中国の反日教育の内容の誤りと弊害

私は過去に”反日教育”について考古学的に調査したことがあります。私の調査では、日本軍が南京に入った時、国民党正規軍は既に武漢に逃げ南京市にはいませんでした。日本軍は無抵抗状態で南京に入場したのです。

ところが南京に中国の少年民兵が鎖に繋がれ放置されていたり、洞窟にもいたのであります。日本軍も中国語が解らず中国人の“助けて”の哀願が理解できなかつた。日本軍が近づくと、ある中国の少年民兵がいきなり砲撃してきました。それで日本の若い兵隊が防御反応で、機関銃で撃ったのが真相のようです。まるで江戸時代末期戊辰戦争（ぼしんせんそう）の時、会津藩白虎隊白虎隊（びゃっこたい）が刀だけで挑んだ挙句、薩長連合にピストルで撃たれた様な状態であると私は考えています。

\*戊辰戦争（ぼしんせんそう、1868年 - 1869年は、王政復古を経て明治政府を樹立した薩摩藩・長州藩らの中核とした新政府軍と、旧幕府勢力及び奥羽越列藩同盟が戦った日本の内戦。名称は慶応4年/明治元年の干支が戊辰であったことに由来する。

明治新政府が同戦争に勝利し、国内に他の交戦団体が消滅したことにより、これ以降、同政府が日本を統治する政府として国際的に認められることとなった）

\*白虎隊（びゃっこたい 戊辰戦争の会津戦争に際して会津藩が組織した、16歳から17歳の武家の男子によって構成された部隊である。中には、戦へ行きたいため生年月日を改め15歳で出陣した者もいる。

また旧日本軍で南京に出兵した古老の話では「南京には空爆もなく無血開城で馬に乗って行進で入城した」とも聞き及んでおります。





江沢民の実父は、江世俊“江”家の次男坊であり、江沢民は第六番目の独身の弟の養子になった。これは中国人の感覚ではありえないことなのです。その叔父は日本軍に殺されたと言っているようですが、事実は中国人の匪賊（ひぞく 徒党を組んで略奪、殺人などを行う盗賊）に殺されたようなのです。江沢民の父の第六番目の独身の弟の養父は共産党員であった。

戦後、東京での”極東裁判”に於いて、日本軍の行動が戦勝国から過大に悪く報告され、更に、江沢民が過大に悪く言っているような気がするのです。歴史教科書は勝者の理論であることが多いのは当たり前ですが、私は余りにも歴史を歪曲（わいきょく）しすぎであると思うのであります。いずれ中国人の若い人達が歴史の真相を知れば、死後江沢民は銅像に唾（つば）を吐（は）かれるかもしれない。

## 第五章 中国の歴史上の人物で今でも中国人に唾（つば）を吐かれた“秦檜（しんかい）夫婦”の像

北宋の末期から南宋時代初期の中国の英雄岳飛（がくひ）は元々は豪農の出であったが、幼児の時に父を亡くし、母の由氏に育てられたという。やがて21歳の時に、北宋代の1122年に都“開封”を防衛していた北宋の宗沢が集めた義勇軍に参加しました。彼は武勇に優れ、その中で“金”との戦いなどに軍功を挙げて頭角を現し、1134年には節度使となり、南宋(首都は当初現在の南京 後杭州)の中の軍閥勢力となった。そして一時には、岳飛は時の皇帝高宗の信頼が絶大と

なった。

しかし、高宗が和平に傾き、さらに増大する勢力が秦檜（しんかい）を初めとする和平派の疑惑を招き、また岳飛は学問にも長けていたことから、逆に張俊のような他の粗野な軍閥の長官達の嫉妬を招く結果になる。

南京に逃げた宋の皇帝の親族が、北宋に代わり南宋の都を南京（建業）にし、1140年には北伐の軍を起し、北宋の都である“開封”の間近にまで迫るも戦線が限界に達し撤退を余儀なくされる。

その後、秦檜により“金”との和平が進められた時、主戦派の筆頭であり、民衆の絶大な人気を持った岳飛は危険な存在であり、1141年に秦檜は岳飛とその養子の岳雲、岳家軍の最高幹部である張憲に対して、無実の罪を着せて誅殺（ちゅうさつ）したのである。この時、岳飛は39歳で岳雲は23歳であり、その背には母親によって彫られたとされる黥（入れ墨）の「尽（精）忠報国」の四文字があったという。

その後に冤罪（えんざい）が証明され、1178年に武穆と諡（おくりな）され、1204年には鄂王と追封され、杭州の西湖のほとりに“岳王廟”が建立された。岳王廟の岳飛・岳雲父子の墓の前には、彼らを

陥（おとしい）れた秦檜夫婦・張俊らが縄で繋がれた形で正座させられている像が作られている。訪れる中国人すべてが秦檜夫婦・張俊の象に唾を吐くのであります。



岳飛はその後の長い間救国の英雄として褒（ほ）め称（たた）えられ、元による支配時には岳飛の名前が漢民族の中で語り継がれた。現代でも中国の歴史上の英雄と言えはまず岳飛の名前が挙がるほどで、三国志の“関羽”と同じ扱いなのであります。

## 第六章 南京市について一言

南京市は人口現在約 740 万人で、中国 7 大古都（時代別に、安陽、西安、洛陽、開封、南京、杭州、北京）の一つで、古くから長江流域・華南の中心地で、かつては三国時代の呉、東晋、南宋・斉・梁・南唐や明といった王朝や南京国民政府の首都でもありました。

夏はとても暑く、重慶、武漢と並ぶ中国三大ボイラー（三大火炉）市の一つと言われている。江沢民は鑑真和尚（がんじんわじょう）の大明寺のある揚州出身であります。揚州は、三国史の時代、呉の国に属します。中国三国志時代の“呉国”といえは“質実剛健”と“情

と正義感”があるはずなのであります。

## 第六章 ごく最近中国国内で放映された“三国(95集)”の“呉国”の内容と現代の呉の女性

三国志には“魏三国志”・“蜀三国志”・“呉三国志”が存在し、最近中国の書店で販売されておりましたので、私は成都の書店で買って読んだことがあります。また最近中国で放映された“三国(95集)”のDVDを見て私は中国三国志時代の呉の孫堅(そんけん)と周瑜(しゅうゆ)の人生の生き方が好きになりました。何故なら私は、二人には日本の”武士道精神”に近いものがあると思ったからです。三国志時代には中国四大美人の一人”貂蟬”(ちょうせん)以外に美人の“大橋”・“小橋”の姉妹がいた。孫堅(そんけん)の奥さんは“大橋”で周瑜の奥さんは“小橋”であります。魏の王“曹操”の第一番目の憧れの女性は“貂蟬”であるが、三国志時代一番のハンサムボーイで武術NO1の”呂布(ろふ)”を荊州(現在の湖北省)で捕え殺したが、呂布の愛人“貂蟬”は自殺したので曹操は自分の女にできなかった。それで第二・第三番目の美女を同時に奪わんとして呉を攻めた。しかし、蜀の諸葛孔明が呉の臨時軍師となって、呉が魏を”赤壁の戦”いで壊滅的に破ったのは有名であります。(その後曹操は魏の都で他国に戦争をしかけず、洛陽で兵力の治療をした。)

周瑜が「蜀の諸葛孔明が余りにも賢者」なので、未来の呉国の脅威をなくす為の計画、諸葛孔明の暗殺計画を察知したのが、美女で優しい“小橋”でありました。密かに逃がしたという“小橋”は「本当に愛する質実剛健な夫を赤壁の戦いで救ってくれた恩人であると信じ感謝の気持ちで密かに「諸葛孔明」を逃がしたのです。その後事実を知った“周瑜”は“小橋”を咎めなかったという話であります。なお“赤壁の戦い”の呉の王は“孫堅”の弟の“孫権”である。

“周瑜”が亡くなった時、孫権は南京(当時は建業)からわざわざ現在の安徽省の“無湖”まで遺体を受け取りに行きました。

私は本当に「諸葛孔明」は個別の女性の女心まで分析できたのは相当女性体験があったか、女性に対する洗脳教育の天才であったと思います。諸葛孔明は“ドンファン”と感じました。

(ドンファン Don Juan) は、17 世紀スペインの伝説上の放蕩児、プレイボーイの代名詞として使われる。

“無湖”には初めて中国近代史において“妓女”出身の画家が上海で女性の“裸体”を書き発表した。世間から非難をあび、フランスに留学して二度と中国にかえらなかつた。名を“潘玉良 1895 年 - 1977 安徽省相城生まれ”と言います。“潘玉良”は中国女性の潜在的改革的上昇志向の代表者で、“無湖”には彼女の記念館がある。DVDの“画魂”も私は見ました。

また、安徽省には日立建機とか丸紅が水道事業で合弁進出しており、安徽省の財務副長官が日本の銀行視察に日本に来たことがあり、各都銀の本店を同行して紹介してあげました。

上海には安徽省の農村の女性が家計を助ける為かなりの出稼ぎ者が多い。

日本語の漢字の音読みは三国志時代の“呉国”ではなく中国戦国史時代の“呉国（首都は現在の蘇州）”の発音であると言われる。訓読みは蒙古で、現在の中国語の発音は清朝（女真族）の発音が元になっている。

私には、魏・呉・蜀の男子も女子も親も子供も兄弟も全部知人がいます。そして感じた事は、それぞれの国にすべて美男子・美人・賢者色々いるが、日本人として私が一番親近感を感じる女性は“呉の国の女性”であります。特に心の美人は呉の女性で限りなく日本女性に近いと思います。

私はこれで中原の中国戦国時代の7か国 “秦・魏・韓・趙・燕・済・楚” →現代三国志の諸都市の旅を一旦終えたいと思う。

（中国に行く回数を減らすという意味）

私は中西部の学生達に示唆したい。反日デモをしている中国の中西部の学生達は、日本には前漢時代、匈奴の王に嫁いだ中国四大美人の一人“王昭君”、三国志の時代の呉の”大橋”・”小橋”、清代の“陳圆圆”（陳円円）“ような美人で優しい日本女性がたくさんいるのに知る機会がない。

これが66回の中国訪問で体験した中国中西部の学生達に伝えたい俯瞰的アドバイスである。

## 第七章；終章 「江沢民は聖武天皇 奥さんは光明皇后？」

最後に、「江沢民さん」には少し辛口批判をしたかも知れないと反省しています。だから言うのではありませんが、病の床にある江沢民の奥さんは非常に優しい人と聞いており、私は、若い時の写真をみております。まるで日本の聖武天皇の皇后“光明皇后”のような人と感じました。



光明皇后は（701年 - 760年）大化の改新(645年)の藤原鎌足の孫で藤原不比等の娘です。聖武天皇の母とは異母姉。初の皇族以外からの皇后です。

日本の奈良時代に “長屋王の変（729年）” で長屋王の妻である姉が死に、親族間の覇権争いに涙を流して夫の聖武天皇に「もう一族同士の殺し合いの争いはやめて！」と泣いて懇願した皇后がいました。それが“光明皇后”です。夫に奈良に“大仏殿(758年完成)” 建造の決断をさせました。日本で初めて畳に座った天皇は聖武天皇（しょうむてんのう 701年 -756年母は藤原不比等の娘・宮子）で、奈良の正倉院に残っています。光明皇后は聖武天皇と出生が同じ年で聖武天皇とは“いとこ（生月が、どちらが早いかが不明）” に当たります。



（日本の文化は、中国大陸からの伝承されたものが多いが、畳（たたみ）は日本民族の生活の知恵が生み出した固有のものであり、湿度が高く、天候の変化が激しい日本の風土で、「敷物」として育てられ、伝承されてきた。日本の「畳」の漢字は中国漢字にはない。畳の部屋は中国語では榻榻米（tatami）的房間（タタミ ダ ファンジェン）である。明らかに日本から中国に輸出された言葉である。畳の意味は「重ねて置くことが出来る」の意味が古来の意味である。）

（毎月江沢民の奥さんを病院に毎月見舞いに行っている“R”君のお母さんを通じて、私も「反日教育はやめて！」と言いたい衝動に駆られる時があります。）

最近、江沢民は仏教徒になったのか？と思われる事実があります。

（第二計参照）私が3年前白馬寺の館長から頂いた「仏説四十二章経」の一頁は江沢民直筆の“中国第一古刹”が書かれてありました。

**本パートの最後に一言だけ日本の若い政治家の皆様へ！**

1、若い、政治家は少なくとも、大学受験の“センター試験”の日本史と世界史90点以上合格してから、立候補してください。

南カラフトを日本人で初めて探検し最初の地図を書いた人は江戸時代の“間宮林蔵”である。

2、私は、日本国憲法の序文“天皇は国民の象徴・・・”を“天皇は



日本人の心、皇后は日本文化の象徴・・・という極めてささやかな

日本国憲法の改憲論者でもあります。

2010/10/17 2010/11/13